

広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター



小田 尚センター長 挨拶

「地域の皆様と手をつなぐ、地域包括支援センター」をコンセプトに、住民の皆様や介護サービス事業者の方々が立ち寄りやすいような明るい雰囲気、事務所作りを心掛けています。またスタッフ一同、これからもどんどん地域に出向いてまいりますので、お気軽にお声かけください！



地域包括支援センターでは、介護予防への取り組みに力を入れています。年を重ねても住み慣れた地域で自分らしくイキイキと生活していけるように、様々な事業の立ち上げを行っております。

その中で、平成29年9月25日に下伴集会所にて、高齢者のグループ『さわやかサロン』主催で、生き生き100歳体操を行いました。ただ筋力向上といった体操をしても続かない…。そんなご意見を受けて、理学療法士が考案した、計算つくされたこの体操を行うことで、参加者の皆様に心地良い疲労感をもたらすと同時に、弾ける笑顔が印象的なひと時を過ごしていただくことが出来ました。

今後も、地域の皆様とともに…住みよい活気のある、戸山・伴・大塚を目指して、取り組んでまいります。



居宅介護センター和楽荘では、要支援・要介護状態になり在宅で生活をされている、ご利用者様・ご家族様を支援させていただいております。平成29年9月27日には、今年度の広島市からの受託事業である「家族介護教室」を開催いたしました。

今回は認知症ケア専門士 佐々木 新氏を講師にお招きし、「認知症における家族や地域の困り事のヒント」と題し、地域の皆様やご家族様と一緒に、認知症における様々な疑問や悩みを考える場となり、また在宅介護中のご家族様同士が交流できる、良い機会となりました。自宅での介護は辛く、孤独を感じてしまうとの声を耳にします。

私たち介護支援専門員は、ご利用者様ご家族様と誠意を持って向き合い、共に考え、より良い在宅生活を支援させていただくために、日々学び、自己研鑽に努めてまいります。



居宅介護センター



山田 道枝主任 挨拶

私たちは、地域に根差した居宅介護支援事業所として、ユーモアと若いパワー溢れる女性6名の介護支援専門員が、毎日高齢者やご家族の家に訪問させていただいております。

居宅介護センター和楽荘への地域ニーズや満足度が高まるように、これからもがんばっていききたいと思います。

